

# 早期景気観測調査

【10-11月期調査結果報告書】

令和7年12月

 甲府商工会議所

## ◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和7年11月17日(月)～12月1日(月)
4. 調査対象 : 当所会員 115 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 56 件
7. 有効回答率 : 48.7 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

【10-11月期の動き】

**全体業況は 3.6 と前期と比較し改善  
サービス業以外の業種は採算改善傾向  
向こう3ヶ月の業況は ▲ 3.6 と悪化する見通し。**

全業種総合の業況DIについて、全業種総合の業況DIは、3.6（前期比 21.8ポイントの増加）となり、前期と比較し改善した。仕入価格高騰及び従業員不足は依然高い水準。業績改善も仕入コスト増大の声が多くあがったものの、売上増加により前期比の採算DIは改善した企業が多かった。

業種別は以下の通り。

●製造業：業況DI 改善 ( ▲10.0 : 前期比 30.0 ポイントの増加 )

改善： 売上DI 採算DI 従業員DI 悪化： 仕入単価DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 20.0 と悪化する見通し。

●建設業：業況DI 改善 ( ▲8.3 : 前期比 33.4 ポイントの増加 )

改善： 売上DI 採算DI 従業員DI 悪化： 仕入単価DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 8.3 と不变の見通し。

●卸売業：業況DI 改善 ( ▲8.3 : 前期比 34.6 ポイントの増加 )

改善： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 悪化： 従業員DI 金融貸出しDI

不变： なし

向こう3ヶ月の先行き業況は、 16.7 と改善する見通し。

●小売業：業況DI 改善 ( 27.3 : 前期比 19.6 ポイントの増加 )

改善： 採算DI 従業員DI 悪化： 売上DI 仕入単価DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 18.2 と悪化する見通し。

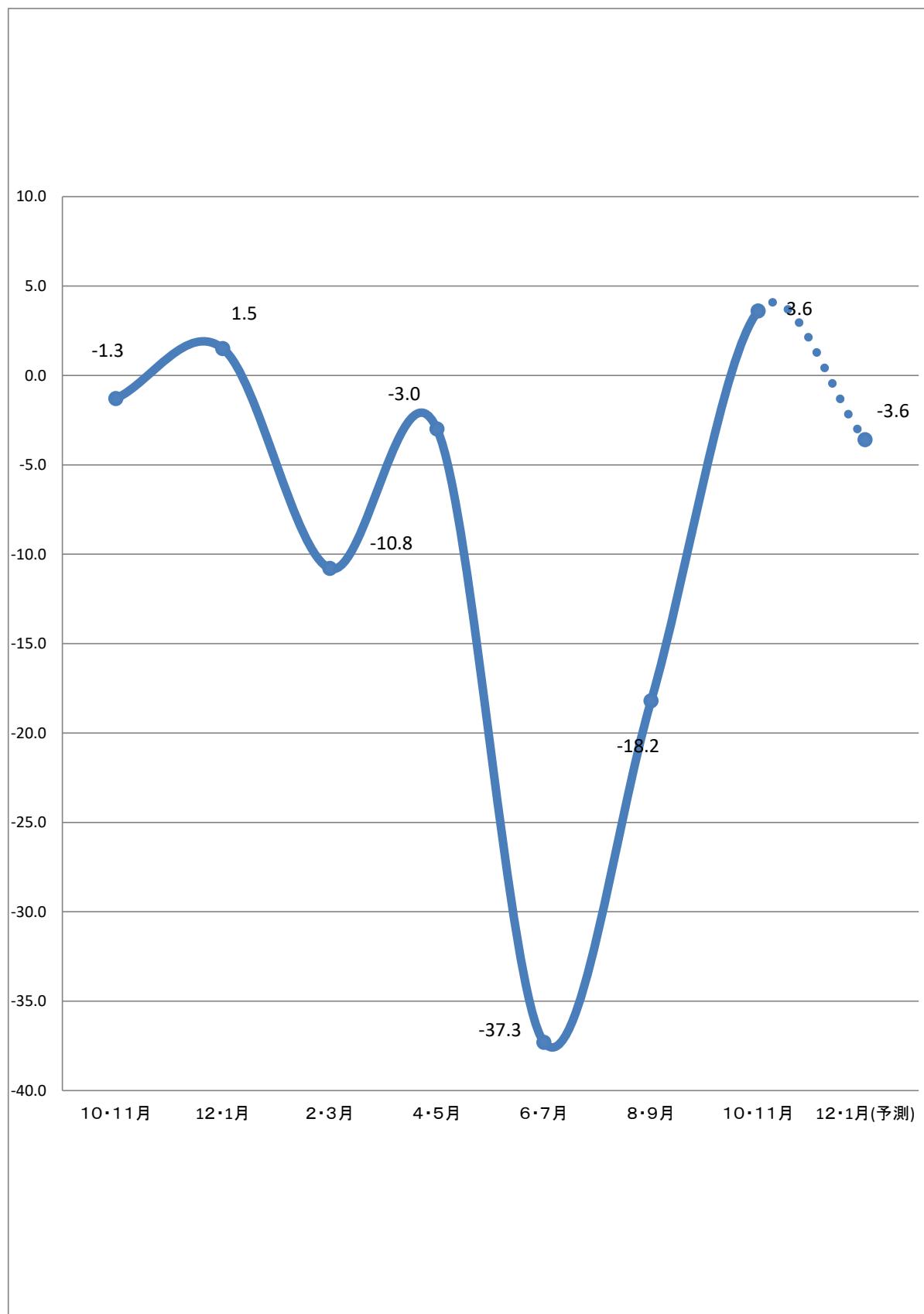
●サービス業：業況DI 悪化 ( 18.2 : 前期比 15.1 ポイントの減少 )

改善： 売上DI 仕入単価DI 悪化： 採算DI 従業員DI

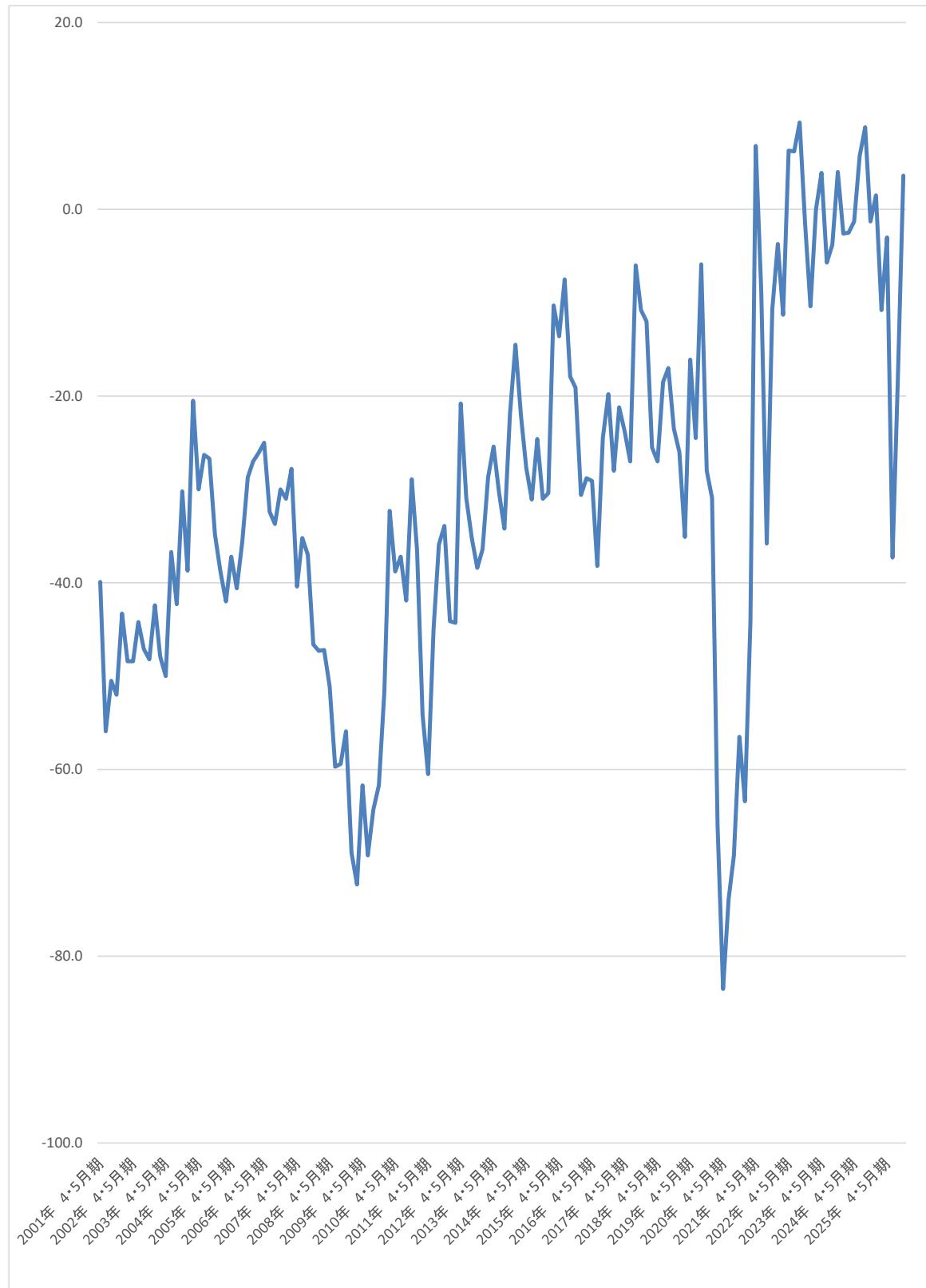
不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 27.3 と悪化する見通し。

## 業況DIの推移



## (2001年4・5月期～2025年10・11月期)

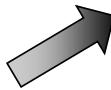
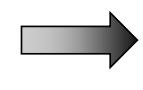


## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値（景況判断指數）について

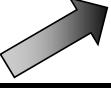
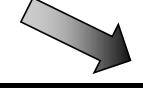
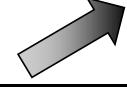
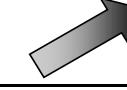
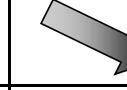
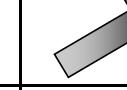
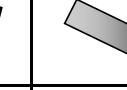
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

## ◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D Iは、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。  
従業員D Iは、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

## ◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
3.6	▲ 3.6	8.9	▲ 16.1	▲ 76.8	37.5	▲ 1.8

全業種総合の業況DIは、 3.6 (前期比 21.8 ポイントの増加)となつた。

### ●項目別(前期比)

売上DI:改善 ( ▲ 18.2 → 8.9 ) 従業員DI:改善 ( 34.8 → 37.5 )

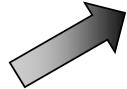
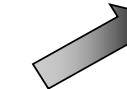
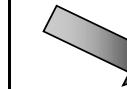
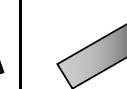
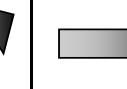
採算DI:改善 ( ▲ 28.8 → ▲ 16.1 ) 金融貸出しDI:悪化 ( 0.0 → ▲ 1.8 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 69.7 → ▲ 76.8 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 3.6 と悪化する見通し。

## ◆業種別

### ○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
<b>▲ 10.0</b>	<b>▲ 20.0</b>	<b>10.0</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 100.0</b>	<b>20.0</b>	<b>0.0</b>

製造業の業況DIは、 **▲ 10.0** (前期比 **30.0** ポイントの増加)となった。

### ●項目別(前期比)

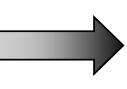
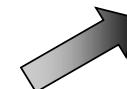
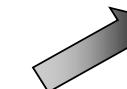
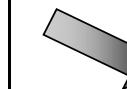
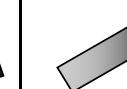
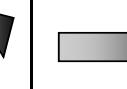
売上DI:改善 ( **▲ 40.0** → **10.0** ) 従業員DI:改善 ( **6.7** → **20.0** )

採算DI:改善 ( **▲ 53.3** → **0.0** ) 金融貸出しDI:不变 ( **0.0** → **0.0** )

仕入単価DI:悪化 ( **▲ 73.3** → **▲ 100.0** )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 20.0** と悪化する見通し。

### ○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 33.3</b>	<b>▲ 83.3</b>	<b>50.0</b>	<b>▲ 8.3</b>

建設業の業況DIは、 **▲ 8.3** (前期比 **33.4** ポイントの増加)となった。

### ●項目別(前期比)

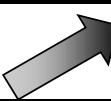
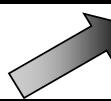
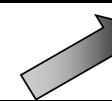
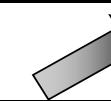
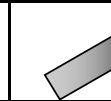
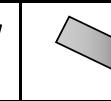
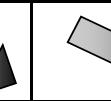
売上DI:改善 ( **▲ 50.0** → **▲ 8.3** ) 従業員DI:改善 ( **41.7** → **50.0** )

採算DI:改善 ( **▲ 58.3** → **▲ 33.3** ) 金融貸出しDI:不变 ( **▲ 8.3** → **▲ 8.3** )

仕入単価DI:悪化 ( **▲ 58.3** → **▲ 83.3** )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 8.3** と不变の見通し。

## ○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
<b>▲ 8.3</b>	<b>16.7</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 16.7</b>	<b>▲ 41.7</b>	<b>41.7</b>	<b>0.0</b>

卸売業の業況DIは、 **▲ 8.3** (前期比 **34.6** ポイントの増加)となつた。

### ●項目別(前期比)

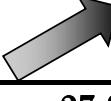
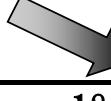
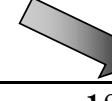
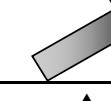
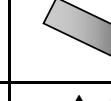
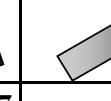
売上DI:改善 ( **▲ 42.9** → **▲ 8.3** ) 従業員DI:悪化 ( **57.1** → **41.7** )

採算DI:改善 ( **▲ 35.7** → **▲ 16.7** ) 金融貸出しDI:悪化 ( **7.1** → **0.0** )

仕入単価DI:改善 ( **▲ 64.3** → **▲ 41.7** )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **16.7** と改善する見通し。

## ○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
<b>27.3</b>	<b>18.2</b>	<b>18.2</b>	<b>▲ 9.1</b>	<b>▲ 72.7</b>	<b>27.3</b>	<b>0.0</b>

小売業の業況DIは、 **27.3** (前期比 **19.6** ポイントの増加)となつた。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( **23.1** → **18.2** ) 従業員DI:改善 ( **23.1** → **27.3** )

採算DI:改善 ( **▲ 15.4** → **▲ 9.1** ) 金融貸出しDI:不变 ( **0.0** → **0.0** )

仕入単価DI:悪化 ( **▲ 61.5** → **▲ 72.7** )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **18.2** と悪化する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
18.2	▲ 27.3	36.4	▲ 18.2	▲ 90.9	45.5	0.0

サービス業の業況DIは、 18.2 (前期比 15.1 ポイントの減少)となつた。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 ( 25.0 → 36.4 ) 従業員DI:悪化 ( 50.0 → 45.5 )

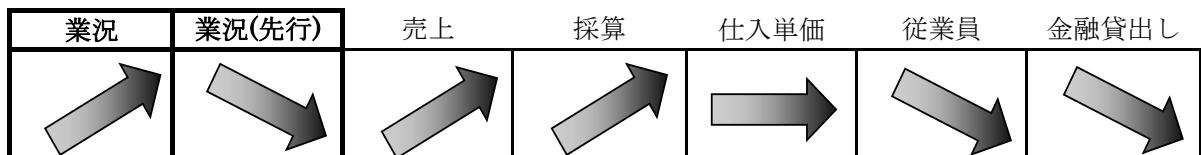
採算DI:悪化 ( 25.0 → ▲ 18.2 ) 金融貸出しDI:不变 ( 0.0 → 0.0 )

仕入単価DI:改善 ( ▲ 91.7 → ▲ 90.9 )

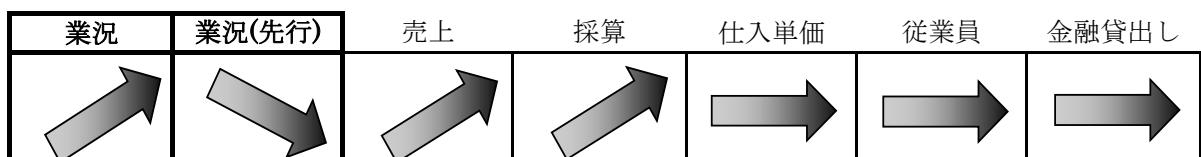
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 27.3 と悪化する見通し。

## ◆業種別詳細

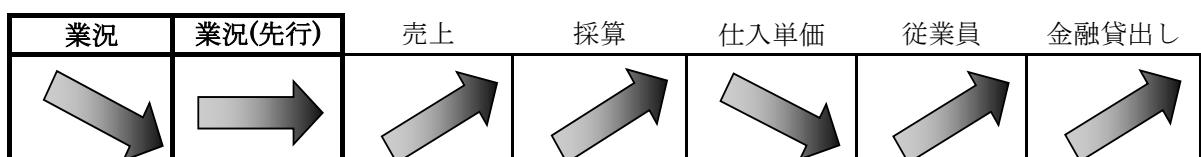
### ○製造業(食品)



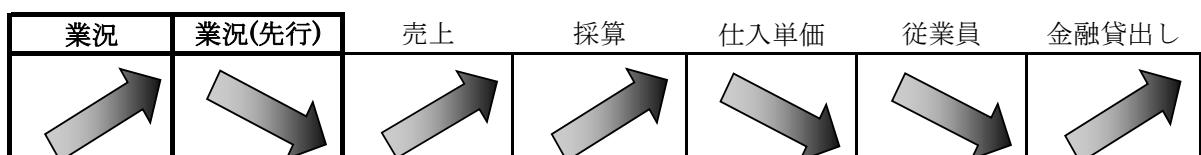
### ○製造業(工業製品)



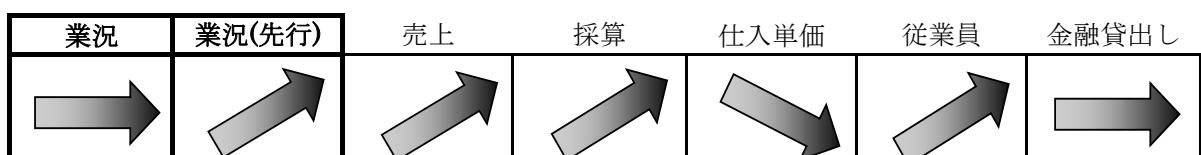
### ○製造業(宝飾)



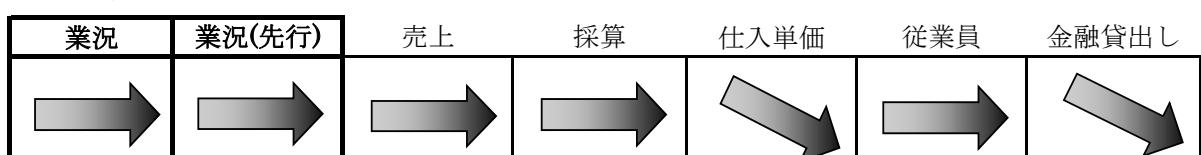
### ○建設業(建築)



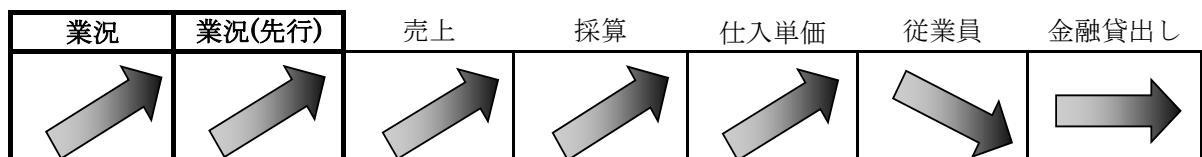
### ○建設業(土木)



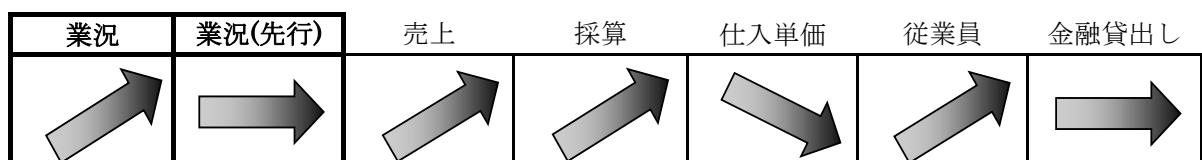
### ○建設業(鉄鋼)



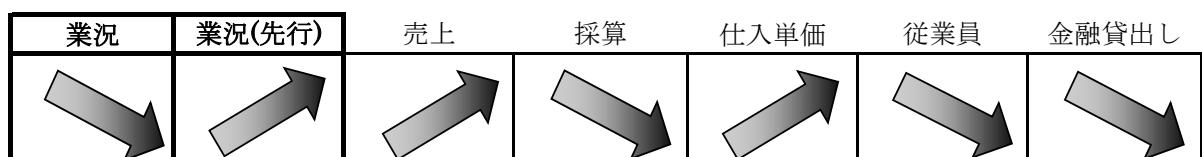
○卸売業(食品)



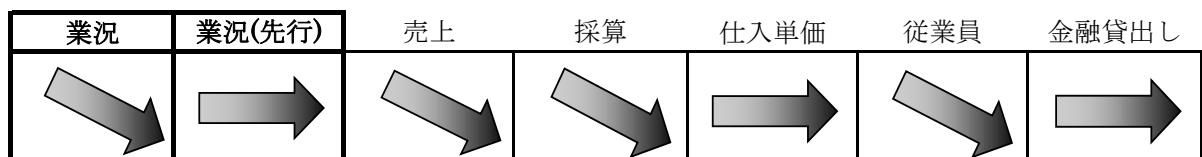
○卸売業(繊維)



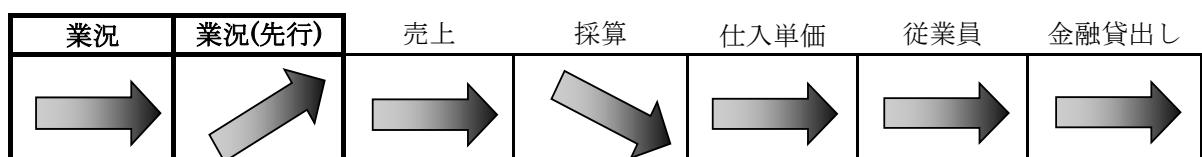
○卸売業(その他)



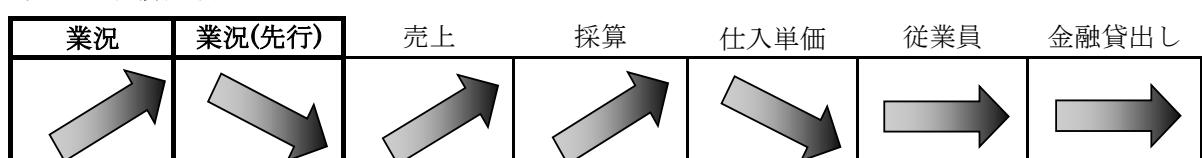
○小売業(大型店)



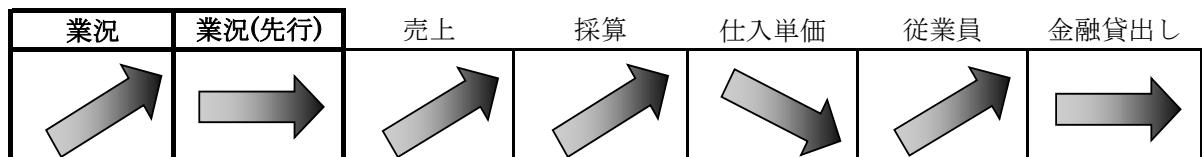
○小売業(食品)



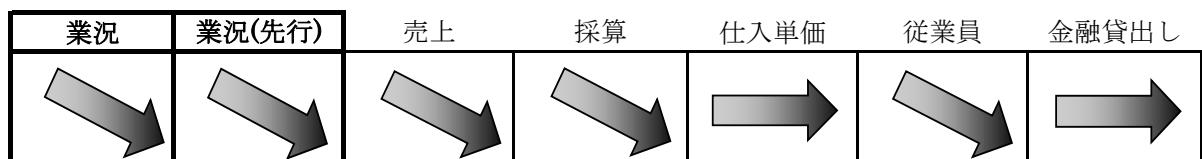
○小売業(事務用品)



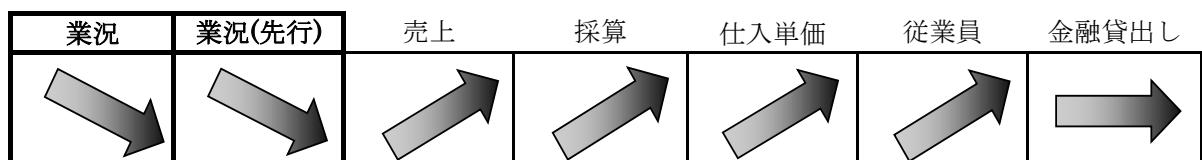
○小売業(趣味・日用品)



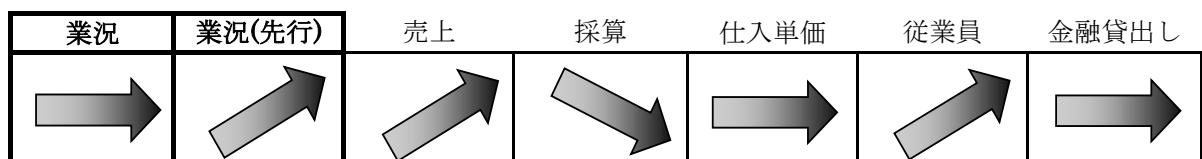
○サービス業(ホテル・旅館)



○サービス業(観光)



○サービス業(飲食その他)



## ◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

### 【製造業】

#### 製造業(宝飾)

- ・地金材料の高騰、円安の状況が続き益々先行きが不透明である
- ・海外展示会の売上が好転したことと国内富裕層の興味が宝飾品に向いてきており全体として業績が微増

#### 製造業(食品)

- ・米の価格高騰により仕入価格の上昇、販売量の減少が見込まれる
- ・競合他社の影響により出荷数、金額増加中。価格改定が利益拡大に寄与、一方コスト上昇もありさらにもう一歩価格改定が必要
- 得意先の判断が遅れており余裕が無い様子が伺える。ロスは最小限にという判断だと思う。

#### 製造業(工業製品)

- ・売上高は前年同期と変わらず堅調に推移しているが、経常利益は為替レートの変動により前年同期比で悪化。

今後は前回同様トランプ関税の影響と為替の動向にもよるが現時点では堅調に推移する見込み

### 【建設業】

#### 建設業(土木)

- ・責任感のある求職者に巡り合わない

#### 建設業(鉄鋼)

- ・人件費に係る仕入単価は上がっている

### 【卸売業】

#### 卸売業(食品)

- ・葡萄等の主要品の出荷が落ちき生花業界全体の出荷量は減少傾向。これからは冬野菜、貯蔵果実、加工品へと取引の中心が移行する。
- ・特に12月は年末年始の需要に向けて贈答用の干し柿や冬野菜の出荷が活発になっていく

#### 卸売業(その他)

- ・顧客格差が広がり続けている。弊社も含め採用には苦戦している話をよく耳にする。
- ・円安の為替状況による仕入単価の上昇や、冬商材の初動が鈍く昨年よりも在庫が多い。小売店も11月に入りようやく冬商材が動いてきていること

### 【小売業】

#### 小売業(趣味・日用品)

- ・物価高による買い控えが続いている、商品の動きが非常に悪い。メーカーも問屋も苦戦している。
- ・仕入価格の上昇に歯止めがかからず、仕入先の廃業が続いている

#### 小売業(大型)

- ・10月は弊社イベントとして10倍ポイントやスタンプラリー、40周年イベント等のプラス要因があり販売店は前年比107.5%と好調。しかし市場閉店分と合わせると99.2%という結果だった。11月は山梨スーパー、ブラックフライデー等戦略を打って現在対前年100%前後

#### 小売業(食料品)

- ・仕入単価の上昇、売り上げの伸び悩み。閉店する店も多い

#### 小売業(家電)

- ・各市町村で高齢者への補聴器購入助成金制度が始まり利用者が増えてきた印象

### 【サービス業】

#### サービス業(観光)

- ・バス、タクシーの乗務員が不足しており需要に応えられない状況です
- ・観光バスの需要は12月中旬より減少する季節的な要因から、向こう3ヶ月の売上高は減少する見込。
- ・運賃の改正が行われたことにより採算は好転することが期待できる。
- ・大阪万博の閉幕を迎えた中で今後の需要、顧客動向(インバウンド客等)には注視したい

#### サービス業(飲食)

- ・12月、1月は忘新年会の為売上は上昇すると思われるが、食料品等の値上げ人件費の上昇など採算的には厳しくなると思う。